

	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
性状の説明 (飲んだ時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「drink」するという表現が適切なとろみの程度</li> <li>■ 口に入れると口腔内に広がる液体の種類・味や温度によっては、とろみが付いていることがあまり気にならない場合もある</li> <li>■ 飲み込む際に大きな力を要しない</li> <li>■ ストローで容易に吸うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 明らかにとろみがあることを感じ、かつ「drink」するという表現が適切なとろみの程度</li> <li>■ 口腔内での動態はゆっくりですぐには広がらない</li> <li>■ 舌の上でまとめやすい</li> <li>■ ストローで吸うのは抵抗がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 明らかにとろみが付いていてまとまりがよい</li> <li>■ 送り込むのに力が必要</li> <li>■ スプーンで「eat」するという表現が適切なとろみの程度</li> <li>■ ストローで吸うことは困難</li> </ul>
性状の説明 (見た時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スpoonを傾けるとすっと流れ落ちる</li> <li>■ フォークの歯の間から素早く流れ落ちる</li> <li>■ カップを傾け、流れ出た後にはうっすらと跡が残る程度の付着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スpoonを傾けるととろとろと流れる</li> <li>■ フォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちる</li> <li>■ カップを傾け、流れ出た後には全体にコーティングしたように付着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スpoonを傾けてお形状がある程度保たれ、流れにくい</li> <li>■ フォークの歯の間から流れ出ない</li> <li>■ カップを傾けても流れ出ない(ゆっくりと塊となって落ちる)</li> </ul>